

新名誉会員の紹介：前会長 齊藤裕氏

齊藤 裕 氏

(1954年12月11日生まれ)



本学会前会長 齊藤裕氏に対し、名誉会員の資格を授与することになりましたので、ここにそのお祝いの意味も込め、その功績を記させていただきます。

齊藤裕氏は、東京大学で機械工学を学ばれ、制御工学とシステム工学を実際の現場で活用してみたいと考え、株式会社日立製作所に1979年に入社されました。そして、当時、日立の制御システム取り纏め工場であった大みか工場の電機制御システム設計部に配属され、鉄鋼システムのエンジニアとしてキャリアをスタートされました。その後、制御システムのエンジニアとして、現場の課題解決・改善のために、解析、モデリング、最適化の手法を駆使して、鉄鋼、上下水、交通、電力などのさまざまな製造現場やインフラシステムにORを実学として活用した経験をお持ちです。これにより、さまざまな分野での効率向上、品質向上を実現されました。

その後、2006年に情報制御システム事業部長、2014年からは副社長として、情報通信システム事業やIoTビジネス推進などの管掌をされ、日立製作所の経営に携われました。その中で、特に、鉄道、電力などの社会インフラをはじめとする情報と制御の技術を駆使するシステムのソリューションを提供する情報制御システム事業部の主要事業は、現在も同社が進めるITとOTを融合する社会イノベーション事業の根幹となっています。これらのご経験をもとに、製造業界にイノベーションを起こしたいという気持ちをもって、2018年には、ファナックに転社されました。現在、ファナック株式会社の副社長に就かれ、同社のIoTビジネスをリードされています。

本学会においては、企業経営者の視点で会長を務められました。「これからのコトの時代、人と地球に優しい社会の実現には、本学会での知の統合に加え、産学連携による多様な視点、価値観、技術の融合が必要」とのビジョンをお持ちでした。そして、それを実現する組織として、「OR学会は、さまざまな学術分野の研

究者、そして、さまざまな業種の企業が参加・連携し合える、最適な体制、環境にある」と、就任挨拶で期待を述べられています。また若手に対して、Society 5.0やCPS (Cyber Physical System)を支える技術として、ORへの期待を「デジタル社会とOR」と題して特別講演されました。さらに、学会運営のデジタル化を目指され、それは現在のORセミナーなどの参加申込同時電子決済の開始や、ホームページの全面リニューアル計画へとつながっています。

企業でのORの実践、経営の経験をもとに、OR学会会長として上記の活動に熱意を持って取り組まれました。感謝のしるしとして名誉会員の資格がこのたび授与されることとなりました。

【略歴】

- 1979年 東京大学工学部機械工学科 卒業
- 1979年 株式会社日立製作所 大みか工場 入社
- 1998年 同社 大みか工場 電機制御システム設計部長
- 2006年 同社 情報・通信グループ 情報制御システム事業部長
- 2009年 同社 情報・通信グループ CSO 兼 CTO 兼 経営戦略室長
- 2009年 同社 情報制御システム社社長
- 2010年 同社 執行役常務
- 2012年 同社 執行役専務
- 2014年 同社 代表執行役 執行役副社長
- 2018年 ファナック株式会社 副社長執行役員
- 2019年 同社 取締役副社長執行役員 兼 CISO (現在に至る)

【OR学会関係】

- 2018～2020年 会長